

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 インターナショナル・コミュニティ・ネットワーク(ICN)

1 事業の趣旨・目的

市の支援体制の枠に入らない子どもたち、また、支援体制が十分でない教科学習のための日本語の学習支援を行う。

2 運営委員会の開催について

【概要】運営委員会はいずれも「子どものための日本語教室」の運営委員会を兼ねて開催した。

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要 (養成講座に関して)
2009 年 6 月 12 日 14:00～ 16:00	所沢市役 所会議室	持丸 邦子 湯沢 智子 辻 恵子 横溝賀代子 小田 良子 滝本 美喜 小川 珠子	1. 文化庁の委託について 2. 子どものための日本語教室 3. 指導者養成講座 4. 高校進学ガイダンス 5. その他、次回の予定など	・応募以降の経過報告 ・講座内容、講師について検討 ・広報活動について検討 ・意見交換
2009 年 11 月 13 日 14:00～ 16:00	所沢市役 所会議室	持丸 邦子 湯沢 智子 辻 恵子 横溝賀代子 小田 良子 滝本 美喜	1. 指導者養成講座 報告 2. 子どものための日本語教室 報告 3. 今年度の支援の今後に ついて 審議 4. その他、次回の予定など	・養成講座 報告 ・実施内容、受講者アンケート 結果、受講者の修了後日本語 教室への参加状況 ・意見交換
2010 年 3 月 12 日 14:00～ 16:00	所沢市役 所会議室	持丸 邦子 湯沢 智子 辻 恵子 横溝賀代子 小田 良子 滝本 美喜 小川 珠子 池上摩希子	1. 報告(事業・会計) 指導者養成講座 子どものための日本語教室 高校入試の結果 2. 来年度について 日本語教室 指導者養成講座 運営委員会 高校進学ガイダンス 3. 将来展望	・養成講座 会計報告 ・来年度について 申請内容説明 カリキュラム、講師、募集方法に ついて検討 ・意見交換

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 子どものための日本語教室
- ② 開催場所 公民館等市内社会教育施設
- ③ 学習目標 子どものニーズに合った日本語学習を支援する。
- ④ 使用した教材・リソース ひらがな・カタカナ・漢字ドリル／『こどものにほんご1・2』／『みんなの日本語』初級Ⅰ・Ⅱ 各国語版／映像教材／指差し会話帳(各国語)／電子辞書／教科の教科書／地図帳
- ⑤ 受講者の募集方法
市の広報／募集チラシ／市教委担当部署から学校への周知／ロコミ／高校進学ガイダンス参加者への働きかけ
- ⑥ 受講者の総数 15 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 314 時間 (全 157 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	7/21,22,23,24,27,28,29,30,31, 8/17,18,19,20,21,24,25,26,27	36 時間	4	中国・中国 3 名 日本・中国 1 名	教授者 10 人	日本語会話・教科学習・理科実験・調理教室
②	3/29,30,31	6 時間	3	日本・英語 日本・タガログ 日本・ペルシャ語	教授者 4 人	日本語会話 教科学習 社会体験
③	10/6,9,13,14,20,23,27,28 11/4,10,11,17,18,24,25 12/1,2,8,15,16,22,23,24 1/5,8,12,15,19,22,26,29 2/2,3,5,9,12,16,17,23,24 3/2,9,10,16,17,23,24	94 時間	4	日本・英語 日本・タガログ 2 日本・ペルシャ語	教授者 3 人	日本語会話 教科学習 社会体験
④	10/14, 20, 21,27, 28,29 11/4,5,11,19, 24,25, 30 12/7,14,15,17,22,24,26 1/7,12,14,18 2/14	50 時間	2	日本・タガログ 2	教授者 3 人	日本語会話 教科学習 社会体験
⑤	10/14,21,22,29 11/5,19,26 12/2,3,9,10,16,17,24 1/13,14,20,21,27,28 2/3,4,10,18,24,25 3/3,4,10,11,17,18,25,31	66 時間	2	日本・英語 2	教授者 2 人	日本語会話 教科学習 社会体験
⑥	毎土曜日(7/4 より) (8 月・10/31・12/26・1/2 を除く)	62 時間	9	中国・中国 5 日本・中国 1 日本・タガログ 3 日本・ペルシャ語	10 人	日本語会話 教科学習 社会体験

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

子どもによって授業風景はさまざまである。

高校受験の子どもは面接の練習もする。

また、今年度は体験に力を入れた。

一日の授業の初めは相談から始まることも多い。

【写真】



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
太田 憲男	ポルトガル語	15年	30回	授業補助, 通訳、翻訳
陳 健新	中国語	5年	30回	授業補助, 通訳、翻訳
中村 栄子	ロシア語	45年	10回	授業補助, 翻訳

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
野村えつ子	中国帰国者定着センター講師	日本語教育能力検定試験合格	0	アドバイザー
高田ジャネット	所沢市教育センター非常勤講師・所沢市外国人窓口相談員・ICN		1	アドバイザー
佐々木妃土美	元日本語学校教師	日本語教育能力検定試験合格	0	アドバイザー
中村 栄子	所沢市教育センター非常勤講師	ロシア語	10回	授業補助, 翻訳、アドバイザー

4 事業に対する評価について

- ① 当初の学習目標の達成状況 子どもにより状況は様々だが、不登校だった子どもの学校生活への復帰や、親子関係の改善に役立った。学習への自信がついたことや気持ちを理解する支援者との交流がもたらした結果だと思われる。
- ② 学習者の習得状況 上達が著しい子、そうでもない子、様々である。
- ③ 日本語教室設置運営の効果、成果 子どもの学校への適応で悩んでいた親御さんからはたいへんに感謝されている。
- ④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等
市内の小・中学校で教科学習までの支援をすることが、私たちの活動を機に決まったことは大きな製菓である。教育センター、学校教育課・社会教育課との連携はかなり密にとれていると思う。
- ⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)
- a. 現状 子どもの教育に悩んでいるお子さんの発掘方法に工夫がいると思う。
- b. 今後の課題 これまでに日本の義務教育からはずれてしまった子どもたちのためのいわゆる「学び直しの教室」が必要とされている。
- c. 今後の活動予定、展望 新年度も委託を受け、「学び直しの教室」の準備を始めたい。
- ③その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。